

研究授業・校内研修会が行われました。

日時：9月9日（水）5校時

授業者：木田博子

授業科目：国語表現

授業クラス：3年3組



#### <授業者の感想>

「話し合いの方法」という単元で、社会的問題である新型コロナウイルス感染と、3年生にとって現在目の前に迫っている進路実現という問題を重ねて考えるという内容の授業でした。大事な時期に臨時休校になるということを想定し、新聞記事を参考に課題や対策について考え、グループでアイデアを出し合いました。世の中で起きていることも、自分の身に降りかかるとはあまり想定していないので、想像力を働かせて考えたり、人の考えを聞いたりする機会になったのではないかと思います。今後も、1人残らず授業に主体的に取り組めるような課題を見つけていきたいと思っています。



麻布教育研究所の永島孝嗣先生を講師としてお招きし、職員研修を行いました。永島先生には、2校時から4校時の通常授業を参観していただき、5校時の研究授業、6校時の授業研究の様子をご覧いただいた上で、研修を行っていただきました。研修では、「1人残らず45分間学び続けることのできる授業づくり」が学びの共同体の取り組みの目的であること、そのために「全ての生徒を見ることができること」や「教科の高い専門性が必要であること」といった、たくさんの助言をいただきました。日々の授業実践に生かしていきたいと思っています。なお、永島先生は、12月16日に予定している授業研究会にもご来校いただく予定です。

